

科目名	成人看護学特殊研究			分野・必選別・単位数	専門科目 (成人看護学)	選択必修	10単位
担当教員	◎教授 南川雅子					科目ナンバー	T2C206
課程	博士後期	配当年次	2～3年	配当学期	通年	授業方法	演習
授業の概要	成人各期にある様々な健康レベルにある対象のニーズを多面的に分析し、最適健康状態を生み出すための看護援助の開発、支援体制づくりに関する方法等について、量的手法または質的手法を用いて研究し、論文を作成する。						
授業の到達目標	①対象者への倫理的配慮に基づいてデータを収集できる。 ②収集したデータを適切な方法で分析できる。 ③②の内容を記述により説明できる。 ④論理的で一貫性のある考察ができる。						
授業計画	回数	担当者	行動目標				
	研究計画書に沿ってデータ収集・分析して論文を仕上げる。詳細については相談して決定する。 ・データ収集 ・データの整理と分析 ・結果の記述 ・考察の記述 【研究テーマ】 (南川雅子)緩和ケア、がんリハビリテーション、およびがん患者・家族への看護介入に関する混合研究、量的研究						
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	指定したテキストの次回授業部分を事前に読んでおくこと。回りの授業内容を予習し、用語の意味等を理解しておくこと。					
	【事後学修】	研究活動中の疑問点をまとめ、文献等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。					
	【必要時間】	当該期間に150時間以上の予復習が必要。					
教科書	必要に応じて適宜提示する。						
参考書	必要に応じて適宜提示する。						
成績評価の方法および基準	研究計画発表20%、中間発表20%、口頭試問60%						
その他履修上の注意事項	履修前提条件:1年次に倫理教育「eLCoRE」を受講し、修了していること。試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。カリキュラムマップのDP3が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。						

科目名	成人看護学特殊研究			分野・必選別・単位数	専門科目 (成人看護学)	選択必修	10単位
担当教員	◎教授 林さとみ 准教授 古屋洋子					科目ナンバー	T2C206
課程	博士後期	配当年次	2～3年	配当学期	通年	授業方法	演習
授業の概要	成人各期にある人々とその家族に関連する看護上の課題について多面的に検討し、看護学や看護実践の発展への貢献に向けその意義を整理し、研究計画書に基づいて、研究目的に適した研究方法を用いて、倫理的・科学的に研究を遂行し、博士論文を作成する。						
授業の到達目標	①研究目的を明確にできる。 ②研究計画書を記載することができる。 ③対象者への倫理的配慮に基づいてデータを収集できる。 ④収集したデータを適切な方法で分析できる。 ⑤既存の文献を活用して論理的に考察ができる。						
授業計画	回数	担当者	行動目標				
	<p>研究テーマ・目的に沿って研究計画を立案し、データ収集・分析を通じて論文を執筆する。 行動計画の詳細は相談して決定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究テーマ・目的の検討 ・先行研究の検討 ・研究計画立案 ・データ収集 ・データの整理と分析 ・論文作成 <p>【研究テーマ】</p> <p>(林 さとみ)循環器疾患リスクのある個人・集団、循環器疾患患者・家族の、疾患発症・悪化リスクに対する認識と行動変容に係る要因の探究、概念化、看護介入</p> <p>(古屋洋子)周術期がん患者の栄養管理、療養生活支援</p>						
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	指定したテキストの次回授業部分を事前に読んでおくこと。 回りの授業内容を予習し、用語の意味等を理解しておくこと。					
	【事後学修】	研究活動中の疑問点をまとめ、文献等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。					
	【必要時間】	当該期間に150時間以上の予復習が必要。					
教科書	必要に応じて適宜提示する。						
参考書	必要に応じて適宜提示する。						
成績評価の方法および基準	研究計画発表20%、中間発表20%、口頭試問60%						
その他履修上の注意事項	履修前提条件:1年次に倫理教育「eLCoRE」を受講し、修了していること。 試験やレポート等に対し、講義中での解説等のフィードバックを行う。 カリキュラムマップのDP3が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。						